

道路建設事業の再評価項目調書

事業名 一般国道9号 <small>はまた みすみ</small> 浜田・三隅道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：島根県浜田市原井町 <small>はまた はらいちよう</small> 至：島根県浜田市三隅町森溝上 <small>はまた みすみちようもりぞかみ</small>	延長	14.5km	
事業概要				
<p>一般国道9号は、京都市から下関市に至る延長約750kmの主要幹線道路である。</p> <p>浜田・三隅道路は、国道9号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等を目的とした島根県浜田市原井町から浜田市三隅町森溝上に至る延長14.5kmの自動車専用道路である。</p>				
H16年度事業化	H15年度都市計画決定	H17年度用地着手	H18年度工事着手	
全体事業費	約571億円	事業進捗率 (H21年度末現在)	53%	供用済延長 0.0km
計画交通量 17,200台/日～18,300台/日				
費用対効果 分析結果 (3便益)	B/C (3便益) <small>(事業全体)</small> 1.4 <small>(残事業)</small> 3.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 217/588億円 事業費 ：185/556億円 維持管理費 ：32/32億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 816/816億円 走行時間短縮便益：597/597億円 走行経費減少便益：148/148億円 交通事故減少便益：71/71億円	基準年 平成22年
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施				
交通量変動：B/C=4.4 (交通量+10%) B/C=3.2 (交通量-10%) 事業費変動：B/C=3.5 (事業費+10%) B/C=4.1 (事業費-10%) 事業期間変動：B/C=3.6 (事業期間+20%) B/C=3.9 (事業期間-20%)				
事業の効果等				
<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（事業区間の損失時間の削減が見込まれる 【2,181万人時間/年→2,070万人時間/年 5%削減】） ・円滑なモビリティの確保（並行区間国道9号の混雑緩和によるバスの19便/日利便性向上が期待される。） ・物流効率化の支援（浜田港から益田方面への利便性向上が見込まれる） ・国土・地域ネットワークの構築 （二次生活圈中心都市浜田市～益田市間の所要時間短縮が見込まれる【70分→60分】） ・個性ある地域の形成 （萩・石見空港からしまね海洋館アクアスへのアクセス向上が見込まれる 年間観光客入り込み客数：48万人（H21）） ・安全で安心できる暮らしの確保 （浜田市三隅町から三次救急医療機関浜田医療センターまでの所要時間短縮が見込まれる 【30分→26分】） ・災害への備え（島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（H9年3月策定）において第1次緊急輸送道路に位置づけられている） ・災害への備え（緊急輸送路である国道9号が通行止めになった場合の代替路を形成する） ・地球環境の保全（CO2排出量が約7.3千t（約0.5%）削減【1,366千t/年→1,359千t/年】） ・生活環境の改善・保全（NOX排出量が約29t（約0.5%）削減【5,882t/年→5,854t/年】） ・生活環境の改善・保全（SPM排出量が約5.3t（約1.1%）削減【486t/年→481t/年】） ・生活環境の改善・保全（浜田市熱田町において発生している夜間71dBの騒音を低減） ・環境への影響を考慮した効果（約7.3千t/年のCO2削減量の貨幣換算値【3.76億円※】） ・通行止めを考慮した効果（国道9号通行止め時の現道の混雑解消効果【2.25億円※】） ・交通事故件数の削減（交通事故件数が約3%削減【1,779件/年→1,732件/年】） 				
※は、供用後50年間の便益額として試算した値（参考値）				

関係する地方公共団体等の意見

浜田市長など2市2町の首長で構成される浜田・益田間高規格道路建設促進期成同盟会など複数の団体から浜田・三隅道路の早期完成の要望を受けている。

島根県知事の意見：

一般国道9号浜田・三隅道路について、継続するとの対応方針（原案）については異存ありません。
浜田・三隅道路は、重点港湾浜田港を活かした物流の活性化、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援を始め、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、早期完成を図って頂きたい。
また、隣接する三隅益田道路についても平成22年10月に都市計画決定され、事業実施環境が整っていることから、早期に新規事業着手を図って頂きたい。
その他の山陰道の各区分についても、未着手区分の早期事業着手、事業中区分の事業促進を図り、2020年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

並行する国道9号では、主要な交差点において交通事故が多発しており、交通事故による通行止めにより著しい渋滞が発生している。
また、国道9号の朝夕ピーク時における交通混雑により、広域交通拠点（浜田港、浜田自動車道や江津道路）へのアクセスを阻害している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度末時点で、用地買収については87%が完了しており、現在はトンネル・橋等の工事を推進中。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

事業効果の早期発現のため暫定2車線での早期供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

新工法の導入（伐採木・間伐材等の有効利用）等により、総合的なコスト縮減を図っている。
当面、暫定2車線で整備

対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

一般国道9号 は ま だ み す み 浜田・三隅道路 事業再評価

平成22年11月

国土交通省 中国地方整備局

1. 位置図

一般国道9号 浜田・三隅道路

- 一般国道9号は、きょうと京都市からしものせき下関市に至る延長約750kmの主要幹線道路である。
- はまだ みすみ浜田・三隅道路は、しまね島根県はまだ浜田市はらい原井町からはまだ みすみ もりみぞかみ浜田市三隅町森溝上に至る延長14.5kmの自動車専用道路である。

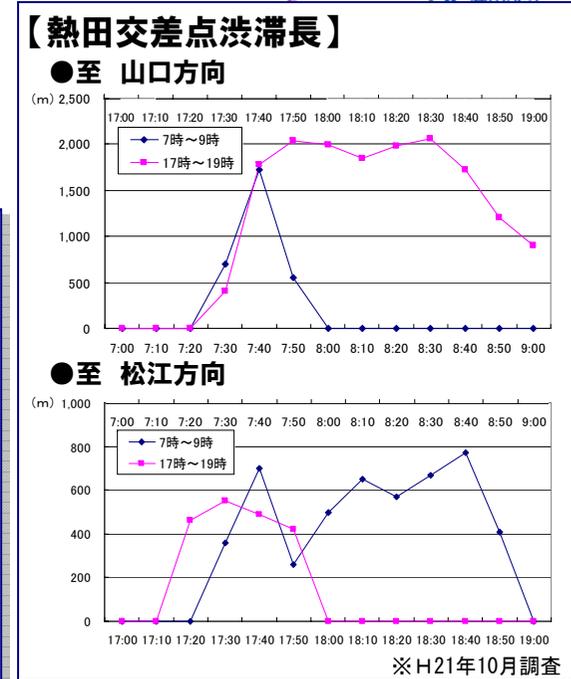


3. 地域から期待される道路の役割(効果)

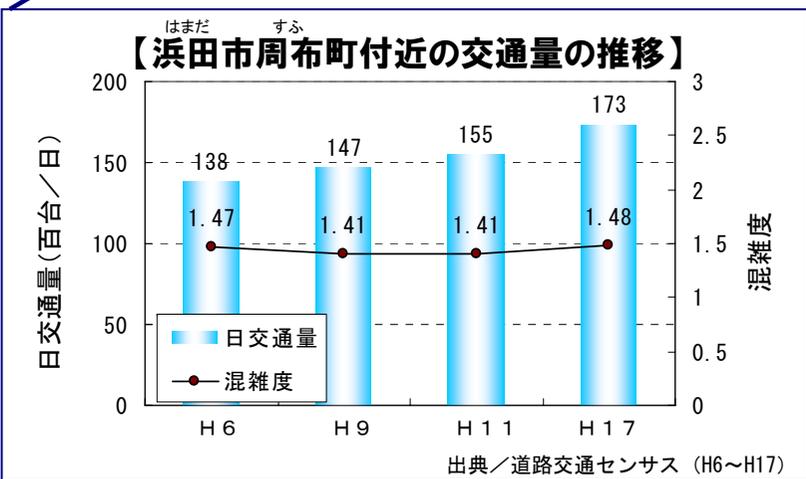
一般国道9号 浜田・三隅道路

課題①: 国道9号で発生する朝・夕の渋滞

● 国道9号の交通量は増加傾向にあり、^{あつた}熱田交差点では、朝・夕ピーク時の交通集中により、2,000mを超える渋滞が発生。



▲ 浜田市熱田町地内での早朝の渋滞状況



3. 地域から期待される道路の役割(効果)

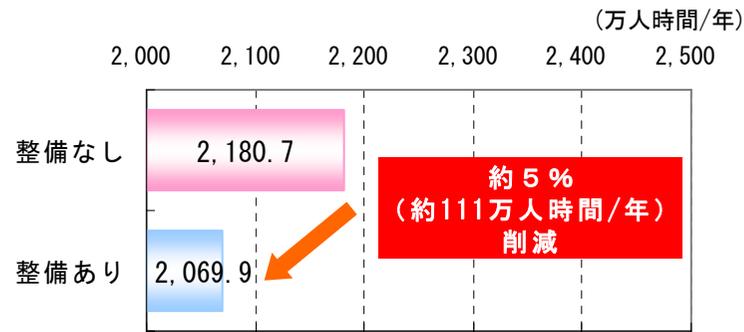
一般国道9号 浜田・三隅道路

<期待される道路の役割> 渋滞損失時間の削減, 沿道環境の改善

●浜田・三隅道路の整備により、周辺地域の損失時間の削減、沿道環境の改善が期待される。

期待される道路の役割(効果)

[損失時間の削減]



損失時間は、当該路線の供用に影響を受けるエリアを対象に算出。
 ※H42交通量配分結果をもとに対象路線の整備あり・なしのケースの交通量・旅行速度を用いて算出

CO2環境への影響を配慮した効果(試算した参考値)

■削減されるCO2排出量: 7.3千t/年

■C(炭素)に換算した排出量: 1.99千t/年

■C(炭素)の排出量削減による効果
 $1.99 \text{千t/年} \times 10,600 \text{円/t} \cdot \text{C} = 0.211 \text{億円/年}$

CO2貨幣価値原単位10,600円/t・C
 公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(共通編)平成20年6月 国土交通省

■50年の単純合計: 9.68億円

■基準年における現在価値: 3.76億円※

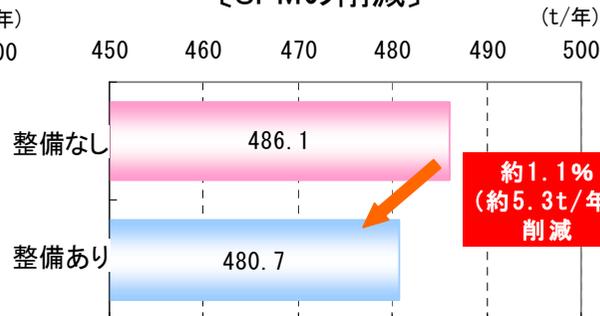
※は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

期待される道路の役割(効果)

[NOxの削減]



[SPMの削減]



[CO2の削減]



[算出対象範囲]

・CO2,SPM,NOxは、当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出。※H42交通量配分結果をもとに対象路線の整備あり・なしのケースの交通量・旅行速度を用いて算出。

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道9号 浜田・三隅道路

課題②: 国道9号の道路構造に課題のある区間の存在

- 国道9号は急カーブや歩道の未設置区間など道路構造に多くの課題があり、走行車両や沿道住民の安全性が確保できていない箇所が点在している。
- 浜田・三隅道路の整備により、安全で快適な走行が期待される。



③ はまだ みすみ おりい
浜田市三隅町折居



② はまだ あつた
浜田市熱田町



① はまだ あつた
浜田市熱田町

<道路凡例>

■■■■■	事業中区間
○○○○○	計画区間
———	高速自動車道
———	一般国道 (直轄)
———	一般国道 (補助)
———	主要地方道
———	一般県道
.....	一般県道 (事業中区間)

<凡例>

■	縦断勾配 $i > 5.0\%$
●	平面線形 $R < 150$

<凡例>

———	歩道未整備区間
-----	---------

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道9号 浜田・三隅道路

課題③: 国道9号の交通事故

- 国道9号(原井~西村間)では、死傷事故率の全国平均を上回る区間が点在しており、特に熱田交差点付近での追突事故が多発している。
- また、国道9号における交通事故致死率は全国平均の約6倍と非常に高く、事故対策は喫緊の課題である。
- 浜田・三隅道路の整備により、死傷事故件数の削減が期待される。

事故発生状況(死傷事故率3Dマップ)

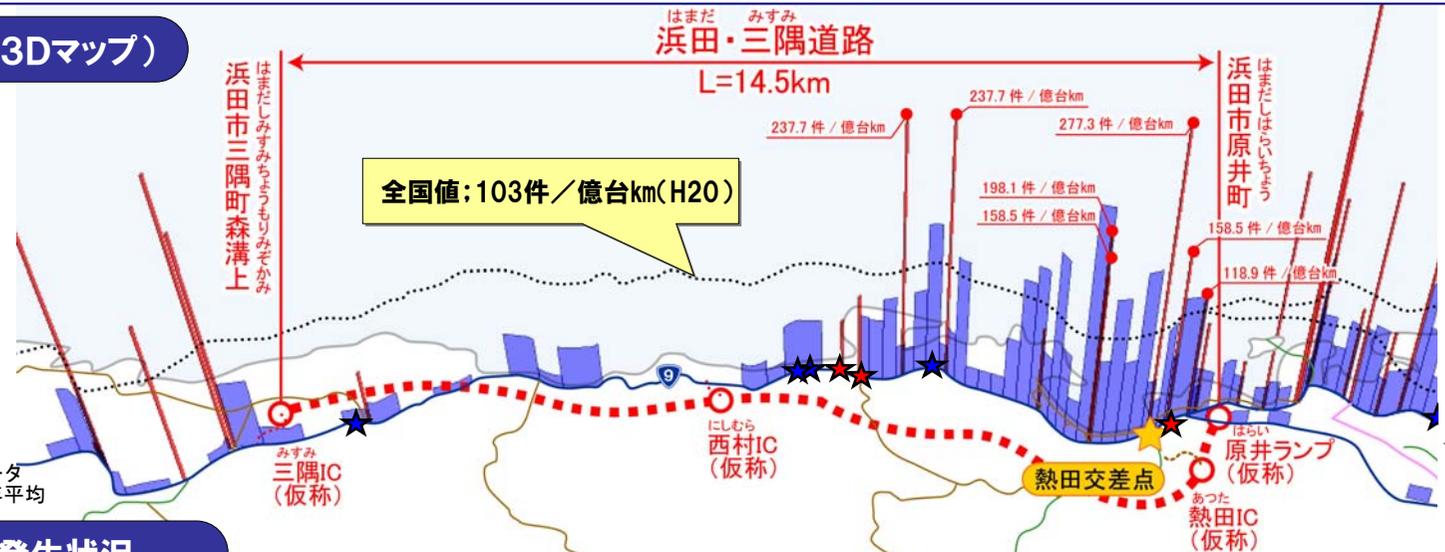


▲事故写真

発生日:平成20年11月27日
発生場所:浜田市三隅町森溝



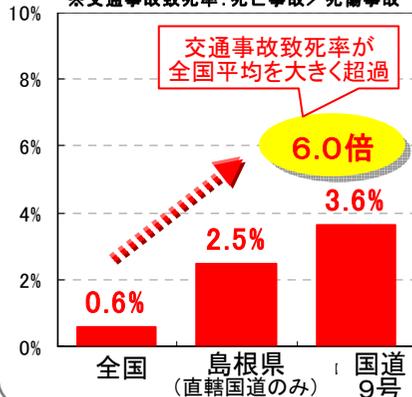
資料/ITARDAデータ
※H17-20の4箇年平均



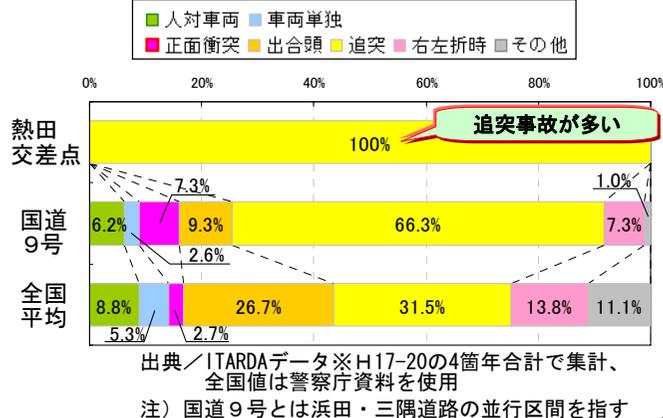
浜田・三隅道路の事故発生状況

<交通事故致死率>

※交通事故致死率: 死亡事故/死傷事故

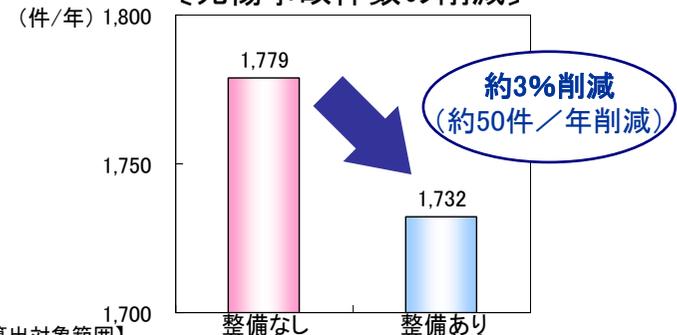


<事故類型割合>



期待される道路の役割(効果)

[死傷事故件数の削減]



【算出対象範囲】
 ・死傷事故件数は、当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出。
 ※H42交通量配分結果をもとに対象路線の整備あり・なしのケースの交通量を用いて算出。

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道9号 浜田・三隅道路

課題④-1 : 交通事故・積雪により頻発する国道9号の通行止め

- 国道9号では、交通事故や積雪による全面通行止めが年間平均で2回発生(約4時間/年)。
- 通行止めに伴い、著しい渋滞や、大幅な迂回を強いられるなど、生活や物流に大きな支障をきたしている。
- 浜田・三隅道路の整備により、代替路が確保され道路の信頼性向上や東西幹線の強化が期待される。

期待される道路の役割(効果)

〔迂回時の所要時間短縮〕

〔現況(通常)〕

70分

〔迂回時〕

約80分
増加

150分

〔整備後〕

約90分
短縮

60分

益田市役所

浜田市役所

注) 浜田三隅道路はV=70km/h、その他はH17道路交通センサの混雑時旅行速度より算出



① 至 松江市
はまた みすみ しらすな
▲浜田市三隅町白砂
大型車がスリップし、上下線封鎖
(発生日:平成22年3月10日)



② 至 松江市
はまた みすみ おりい
▲浜田市三隅町折居での渋滞状況
(発生日:平成22年3月10日)



③ 至 松江市
はまた みすみ もりみぞかみ
▲浜田市三隅町森溝上
全面通行止めの状況
(発生日:平成20年10月)

浜田・三隅道路に並行する国道9号の
全面通行止め回数:2回/年
累積規制時間:3.8時間/年
H12-H21平均



④ 至 松江市
はまた みと
▲主要地方道34号線 浜田美都線

～地域の声～

① 足止めや予定変更が発生して困っている

- ◆ 目的地に到着できないために予定を変更。
- ◆ 事故のための1時間ほどの渋滞中にトイレに行けず困った。

② 小型車(乗用車)でも迂回は難しい(したくない)

- ◆ 迂回路が狭すぎて、そこを抜けるのに時間がかかり、精神的にも困ばい。
- ◆ 狭い道が多いので、対向車が現れて立ち往生。

※益田市・浜田市住民アンケート調査結果

3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道9号 浜田・三隅道路

課題④-2:代替路線の確保

● 浜田・三隅道路の整備により、当該区間の代替路が確保される。

『通行止めを考慮した効果』算出イメージ

例えば、浜田・三隅道路並行区間の国道9号が通行止めになった場合



国道9号浜田～三隅間(⊗)が通行止めの場合の費用

国道9号浜田～三隅間(⊗)が通行止め、浜田・三隅道路が未整備の場合の費用

【区間別の通行止め発生状況】

	全面通行止め回数(上段:回/年)と累積規制時間(下段:時間/年)										
	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	10年計
国道9号	2	1	3	1	3	2	5	2	1	4	24
	5.0	1.3	7.6	1.7	9.5	0.7	5.5	3.3	0.9	3.2	38.4

注) 国道9号とは浜田・三隅道路の並行区間を指す

通行止めを考慮した効果(試算した参考値)

■ 国道9号の全面通行止め日数(H12～21の10ヶ年の平均)

① 浜田・三隅道路並行区間: 0.16 日/年(38.4/24[時間]/10[年])



■ ①の路線に並行する国道9号が通行止めとなった場合、その路線により短縮される走行時間等を計測



■ 通行止め時に発生する効果

① 浜田・三隅道路並行区間: 0.12億円/年



■ 供用後50年間の便益額合計

① 浜田・三隅道路: 5.90億円(2.25億円)

※ () 内は、供用後50年間の便益額を、基準年における現在価値で試算した値(参考値)

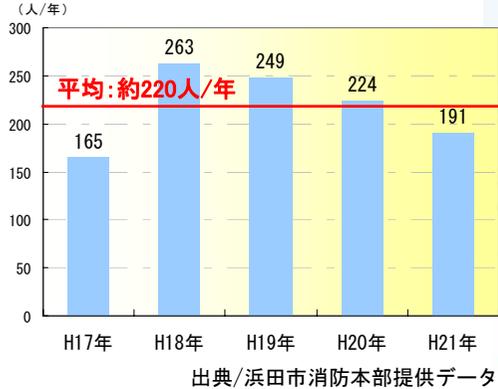
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道9号 浜田・三隅道路

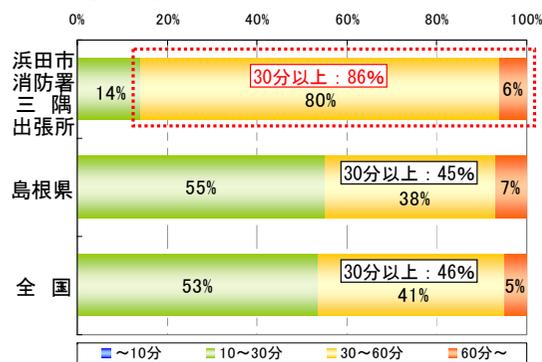
課題⑤:重症患者の救急救命

- 浜田市三隅町には救急病院がないため、浜田市消防署三隅出張所では年間約400人の搬送のうち、約6割（約220人/年）を第3次医療機関である浜田医療センターへ搬送している。
- 三隅出張所での収容時間は約9割が30分以上も要しており、全国平均と比べると救急医療搬送の水準が低い。
- 浜田・三隅道路の整備により、浜田医療センターへの搬送時間の短縮や安静な搬送が可能となり、住民の安心な暮らしが期待される。

■ 浜田市消防署三隅出張所から浜田医療センターへの搬送推移



■ 覚知から病院までの収容時間別構成比(H18)



期待される道路の役割(効果)

〔管内搬送の予測〕



注) 現況: H17道路交通センサスの規制速度で算出
 整備後: 浜田三隅道路はV=70km/h、その他はH17
 道路交通センサスの規制速度より算出

<凡 例>

■	事業中区分
□	計画区分
—	高速自動車道
—	一般国道(直轄)
—	一般国道(補助)
—	主要地方道
—	一般県道
—	一般県道(事業中区分)

～消防の声～

◆ 国道9号が通行止めになった場合の代替路に良い道はない。患者への負担は大きく、患者搬送ルートとして適していない。

【浜田消防本部】

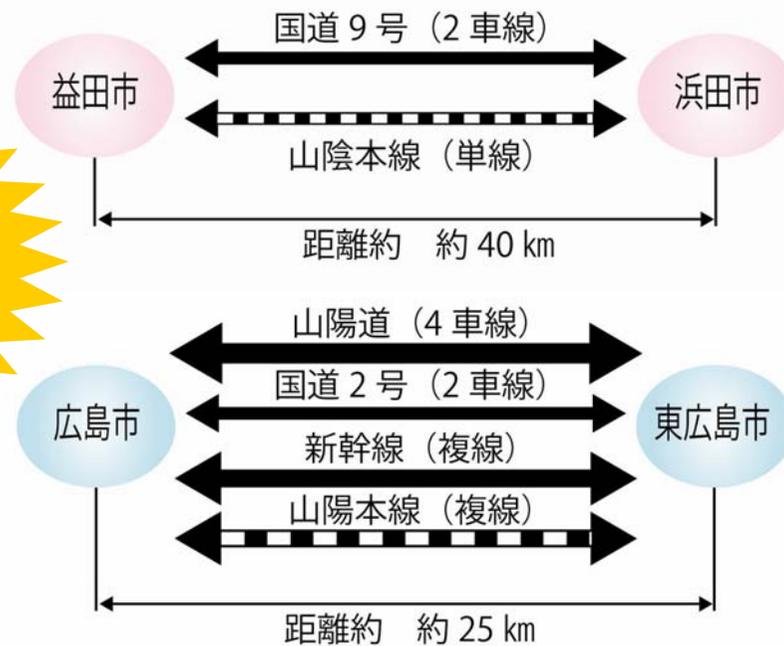
3. 地域から期待される道路の役割(効果)

一般国道9号 浜田・三隅道路

課題⑥:円滑なモビリティの確保

- 山陰の東西を連絡する交通網は、国道9号（2車線）とJR山陰本線（単線）のみと脆弱であり、山陽側と比べ交通手段には大きな格差がある。
- 浜田・三隅道路の整備により、観光など広域交流の促進や地域活性化が期待される。

山陰・山陽の交通手段の比較



【山陰と山陽の交通手段の比較】

		広島市～東広島市	益田市～浜田市
鉄道	在来線	149便/日	37便/日
	新幹線	52便/日	-
バス	路線バス	24便/日	19便/日
	高速バス	101便/日	-
計		326便/日	56便/日

4. コスト縮減に関する取り組み

一般国道9号 浜田・三隅道路

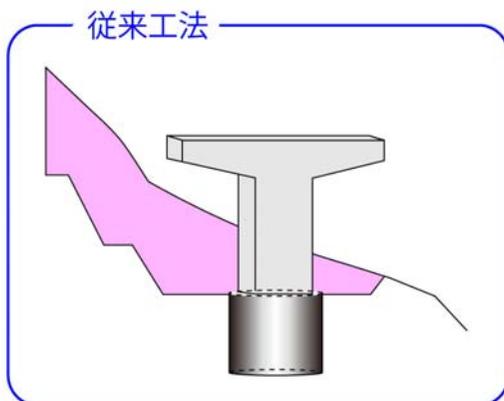
●新工法の導入や伐採木、間伐材等の有効利用等により、コスト縮減を図っている。

【コスト縮減内容】

■急傾斜地の橋梁下部工事に

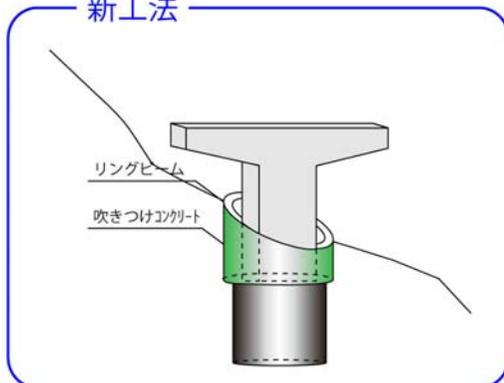
竹割り型構造物掘削工法を採用

- ・地山の掘削面積を最小限に抑えられるため、自然環境に与える影響が小さくできる。
- ・長大な人工斜面の維持・管理費が不要。



コスト縮減額：約0.2億円

■新工法



■伐採木・間伐材等の有効利用

- ・工事により発生する伐採木等をチップ化し、切土法面緑化のマルチング材として利用することにより伐採木の処分費を縮減。

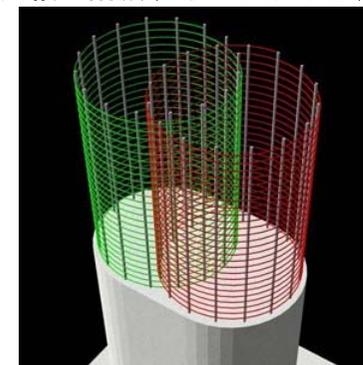
コスト縮減額：約2億円



■下部工事の橋脚にインターロッキング式配筋工法を採用

- ・円形状の鉄筋を部分的に重ね合わせることで、高い拘束効果が期待できる。
- ・従来の配筋方法と比べ、鉄筋量を大幅に削減することができ、コスト縮減が図られる。

コスト縮減額：約0.1億円



5. 事業の効果

- 地域からの要望等を踏まえ、道路の役割については従来の3便益に加えて、「地域から期待される道路の役割」等を整理。

◆3便益による費用便益比

項目	全体事業	残事業	便益計測対象項目	内容
費用(C)	588	217	走行時間短縮便益	道路整備により、周辺道路も含めた走行時間が短縮される効果を貨幣価値として計測する。
事業費	556	185	走行経費減少便益	道路整備によって、混雑の緩和等走行条件が改善されることによる走行するために必要な費用の減少量として計測する。走行費用には、燃料費、オイル費、タイヤ・チューブ費、車両費、車両償却費等が含まれる。
維持管理費	32	32	交通事故減少便益	道路整備によって周辺道路の交通量が減少することに伴う交通事故による社会的損失の減少を貨幣価値として計測する。交通事故の社会的な損失には運転者、同乗車、歩行者に関する人的損害額、交通事故により損傷を受ける車両や構造物に関する物的損害額、事故渋滞による損失額が含まれる。
便益額(B)	816	816		
走行時間短縮便益	597	597		
走行経費減少便益	148	148		
交通事故減少便益	71	71		
費用便益比	1.4	3.8		

※費用便益比については、暫定2車線整備時の「費用(C)」、「便益(B)」により算出

◆道路の役割

◇道路の役割

- ①環境への影響を考慮した効果[約7.3千トンの/年のCO2削減][+3.76億円]※
浜田・三隅道路整備に伴う速度向上による環境(CO2)の改善効果を算定
- ②交通事故・災害による通行止めを考慮した効果[+2.25億円]※
- ③重症患者の救急救命[例 浜田市消防署三隅出張所～浜田医療センターまでの所要時間短縮約4分]
- ④交通・物流拠点へのアクセスの支援[例 益田市役所～浜田港までの所要時間短縮約6分]
- ⑤道路構造不良箇所の回避[縦断線形 $i > 5.0\%$:5区間、平面線形 $R < 150m$:9箇所]

※[]は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

	計画交通量	総事業費	総費用(C)	総便益(B)	費用対効果(B/C) ()内は残事業B/C
参考①(3便益・総事業費の見直し)	17,200～18,300台/日	571億円	588億円	816億円	1.4(3.8)
参考②(その他の道路の役割を考慮)	17,200～18,300台/日	571億円	588億円	816億円 + α	—

6. 今後の対応方針(原案)

一般国道9号 浜田・三隅道路

1.再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

- ◇並行する国道9号では、朝夕ピーク時の渋滞や交通事故が多発している。
- ◇国道9号で交通事故、災害等が発生した場合、近傍に回避できる道路が存在しない。

2) 事業の効果

- ◇費用便益比 (B/C) = 1.4 (事業全体) 3.8 (残事業)
- ◇道路の役割

- ①環境への影響を考慮した効果 [約7.3千ト/年のCO2削減] 【+3.76億円】※
浜田・三隅道路整備に伴う速度向上による環境 (CO2) の改善効果を算定
- ②交通事故・災害による通行止めを考慮した効果 【+2.25億円】※
- ③重症患者の救急救命 [例 浜田市消防署三隅出張所～浜田医療センターまでの所要時間短縮約4分]
- ④交通・物流拠点へのアクセスの支援 [例 益田市役所～浜田港までの所要時間短縮約6分]
- ⑤道路構造不良箇所の回避 [縦断線形 $i > 5.0\%$: 5区間、平面線形 $R < 150m$: 9箇所]

3) 事業の進捗状況

※【 】は、供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)

- ◇平成21年度末で用地買収については87%完了しており、現在はトンネル・橋等の工事を推進中。

②事業の進捗見込み

- ◇事業効果の早期発現のため暫定2車線での早期供用を目指す。

③コスト縮減や代替案立案等の可能性

- ◇新工法の導入 (伐採木、間伐材等の有効利用) 等により、総合的なコスト縮減を図っている。【約2.3億円】
- ◇当面、暫定2車線で整備

2.県への意見紹介結果

一般国道浜田・三隅道路について、継続するとの対応方針(原案)については異存ありません。
浜田・三隅道路は、重点港湾浜田港を活かした物流の活性化、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援を始め、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、早期完成を図って頂きたい。
また、隣接する三隅益田道路についても平成22年10月に都市計画決定され、事業実施環境が整っていることから、早期に新規事業着手を図って頂きたい。
その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、2020年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。

【今後の対応方針(原案)】

- ◇上記①、②の各視点により、以上の状況を勘案すれば、事業の必要性・重要性は変わらないと考えられるため、今後とも**事業継続が妥当**。
- ◇今後の事業実施にあたっては、更なる3コスト縮減に努力しつつ、効率的な事業を継続する。

◆ 前回評価時との比較

	採択時評価 (H12新規)	今回評価 (H22再評価)	備考 (前回評価時からの変更点)
事業諸元	L=14.5km	L=14.5km	
計画交通量	16,900台/日	17,200~18,300 台/日	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな交通需要推計(H20年度)による計画交通量の見直し ・当面の暫定2車線整備
総事業費	約800億円	約571億円	<ul style="list-style-type: none"> ・当面の暫定2車線整備
総費用 (C)	667億円	588億円	<ul style="list-style-type: none"> ・「費用便益分析マニュアル」の改定等による変更 ・基準年の変更(H12基準からH22基準) ・当面の暫定2車線整備
総便益 (B)	2,011億円	816億円	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな交通需要推計(H20年度)による計画交通量の見直し ・「費用便益分析マニュアル」の改定等による変更 ・基準年の変更(H12基準からH22基準) ・当面の暫定2車線整備
費用対効果 (B/C)	3.0	1.4	<ul style="list-style-type: none"> ・総費用及び総便益を見直したため

※費用/便益は基準年における現在価値の値

一般国道9号 浜田・三隅道路
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道9号 浜田・三隅道路
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性 ■ 便益が費用を上回っている	事業全体：費用便益比（B/C）=1.4 （経済的純現在価値（B-C）=228億円、経済的内部収益率（EIRR）=5.7%） 残事業：費用便益比（B/C）=3.8 （経済的純現在価値（B-C）=599億円、経済的内部収益率（EIRR）=17.0%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について：（浜田・三隅道路〔浜田市原井町～浜田市三隅町森溝上〕） 当該区間の渋滞損失削減時間：111万人・時間/年（2,181万人・時間/年→2,070万人・時間/年） 当該区間の渋滞損失削減率：5%削減
	<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
	<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上かつ踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	石見交通の路線バスなど1日19便の利便性向上が見込まれる。
	<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	浜田市から萩・石見空港へのアクセス向上が見込まれる（69分⇒43分）※山陰道が全線整備された場合の値 （69分⇒62分）※浜田・三隅道路のみが整備された場合の値
	物流効率化の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる
■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上		浜田港などから関西方面への鮮魚出荷の利便性向上が見込まれる
<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくは180規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		
1. 活力 都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
	<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
	<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
	<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	
	<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
	<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発（300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上）への連絡道路となる	

1. 活力	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	浜田市～益田市間を高規格幹線道路で連絡する
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	隣接する二次生活圏中心都市浜田市～益田市間の所要時間短縮が見込まれる（70分⇒50分）※山陰道が全線整備された場合の値（70分⇒60分）※浜田・三隅道路のみが整備された場合の値
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	浜田市三隅町から浜田市中心部へのアクセス向上が見込まれる（33分⇒26分）※山陰道が全線整備された場合の値（33分⇒26分）※浜田・三隅道路のみが整備された場合の値
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	萩・石見空港からしまね海洋館アクス（年間観光客入り込み数：48万人（H21））へのアクセス向上が見込まれる
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	浜田市三隅町から浜田医療センターへのアクセス向上が見込まれる（30分⇒26分）※山陰道が全線整備された場合の値（30分⇒26分）※浜田・三隅道路のみが整備された場合の値

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	島根県緊急輸送道路ネットワーク計画（H9年3月策定）において第1次緊急輸送道路に位置づけられている。
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	緊急輸送道路路線名：国道9号、代替する区間：浜田市原井町～浜田市三隅町間
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
<input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす			
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：7千t/年、排出削減率：約0.5%削減（整備なし：1,366千t/年⇒整備あり：1,359千t/年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：29t/年、排出削減率：約0.5%削減（整備なし：5,882t/年⇒整備あり：5,854t/年）
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間：当該道路の供用に影響を受けるエリアを対象に算出 排出削減量：5.3t/年、排出削減率：約1.1%削減（整備なし：486t/年⇒整備あり：481t/年）
		■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	H21道路環境センサス1030-1（浜田市熱田町 地内）において、夜間騒音レベルが71dBと夜間要請限度の70dBを超過
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	■ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	「中国ブロックの社会資本の重点整備方針（H21.8）」に位置付けあり
		■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	山陰自動車道（三隅～遠田間）
		■ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	島根県総合発展計画 平成20年4月 浜田市総合振興計画 平成19年3月
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道9号	浜田・三隅道路	L=14.5km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
17,200～18,300	2	中国地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成22年度		
単純合計	546億円	86億円	632億円
うち残事業分	203億円	86億円	290億円
基準年における 現在価値 (C)	556億円	32億円	588億円
うち残事業分	185億円	32億円	217億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成22年度			
供用年	平成27年度			
単年便益 (初年便益)	35億円	8.8億円	4.2億円	48億円
基準年における 現在価値 (B)	597億円	148億円	71億円	816億円
うち残事業分	597億円	148億円	71億円	816億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.4
経済的純現在価値（事業全体）	228億円
経済的内部収益率（事業全体）	5.7%
費用便益比（残事業）	3.8
経済的純現在価値（残事業）	599億円
経済的内部収益率（残事業）	17.0%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	17,200~18,300	±10%	3.2~4.4
事業費	203億円	±10%	3.5~4.1
事業期間	4年	±20%	3.6~3.9

交通状況の変化

様式-3①

事業名：浜田・三隅道路（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 14.5km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	17,700	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	12	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	42.94	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道9号 : 14.9km	交通量	[台/日]	20,600	3,500
		走行時間	[分]	21	19
		走行時間費用	[億円/年]	82.82	12.09
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 : 4602.5km	走行時間費用	[億円/年]	2,470.36	2,465.16	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 4631.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,553.18	2,520.19	32.99

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

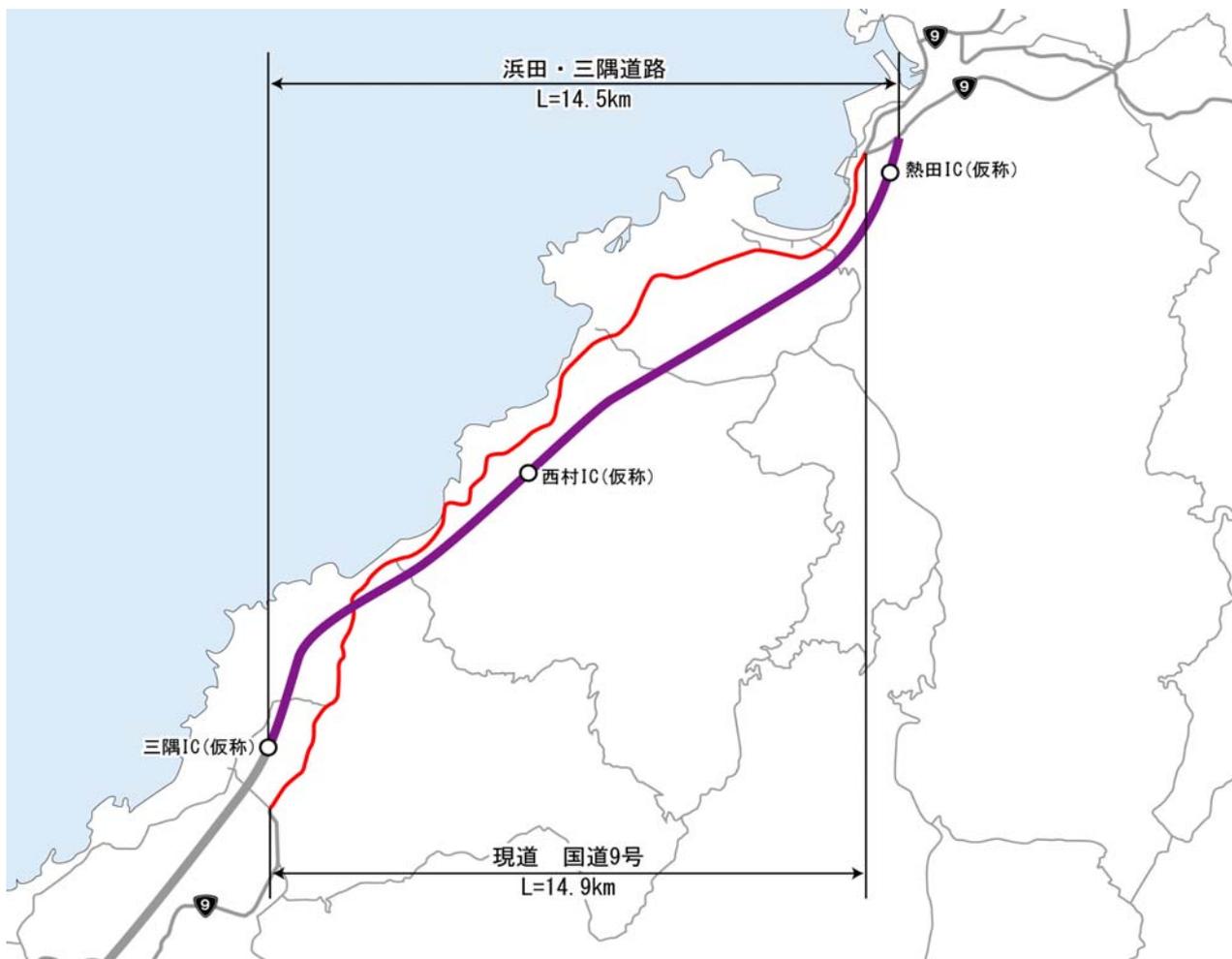
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：浜田・三隅道路（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 14.5km	交通量 ^{※1}	[台/日]	—	17,700	
	走行時間 ^{※2}	[分]	—	12	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	—	42.94	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道9号 : 14.9km	交通量	[台/日]	20,600	3,500
		走行時間	[分]	21	19
		走行時間費用	[億円/年]	82.82	12.09
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 : 4602.5km	走行時間費用	[億円/年]	2,470.36	2,465.16	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 4631.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	2,553.18	2,520.19	32.99

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

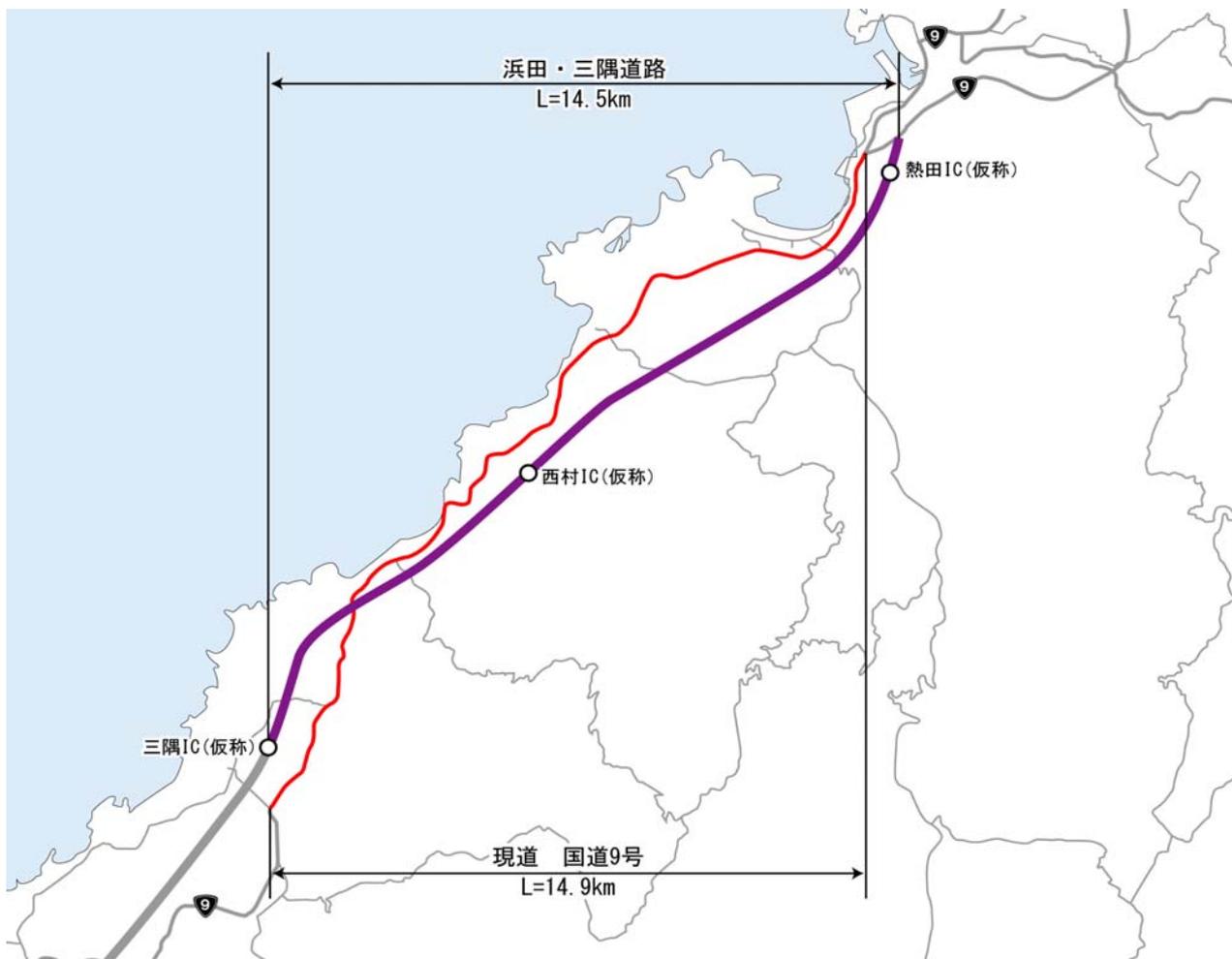
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：浜田・三隅道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成22年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (平成42年)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()			
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他()		<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他(最終配分交通量とQV式の関係から平均速度を設定)	<input checked="" type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数		() %	
	休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	() 日
			採用した通行止め日数の考え方を記載	
	とり止め交通を考慮する		<input type="checkbox"/>	
	とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数	() 日	
		採用した冬期日数の考え方を記載		
冬期の走行速度と交通容量の関係				
設定の考え方を記載				
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 浜田・三隅道路(事業全体)

採用単価の根拠		一般国道(直轄)雪害費除く
単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
0.13	14.5	1.81

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-15年目	H 12	1.4802	99.7	0.96	1.30		
-14年目	H 13	1.4233	98.4	0.96	1.27		
-13年目	H 14	1.3686	96.6	0.96	1.24		
-12年目	H 15	1.3159	95.4	2.12	2.67		
-11年目	H 16	1.2653	94.4	8.44	10.33		
-10年目	H 17	1.2167	93.2	18.01	21.47		
-9年目	H 18	1.1699	92.5	36.82	42.52		
-8年目	H 19	1.1249	91.7	81.53	91.31		
-7年目	H 20	1.0816	91.3	68.27	73.84		
-6年目	H 21	1.0400	91.3	71.71	74.58		
-5年目	H 22	1.0000	91.3	52.63	52.63		
-4年目	H 23	0.9615	91.3	56.11	53.95		
-3年目	H 24	0.9246	91.3	57.12	52.81		
-2年目	H 25	0.8890	91.3	47.11	41.88		
-1年目	H 26	0.8548	91.3	43.12	36.86		
供用開始年次	H 27	0.8219	91.3			1.73	1.42
1年目	H 28	0.7903	91.3			1.73	1.36
2年目	H 29	0.7599	91.3			1.73	1.31
3年目	H 30	0.7307	91.3			1.73	1.26
4年目	H 31	0.7026	91.3			1.73	1.21
5年目	H 32	0.6756	91.3			1.73	1.17
6年目	H 33	0.6496	91.3			1.73	1.12
7年目	H 34	0.6246	91.3			1.73	1.08
8年目	H 35	0.6006	91.3			1.73	1.04
9年目	H 36	0.5775	91.3			1.73	1.00
10年目	H 37	0.5553	91.3			1.73	0.96
11年目	H 38	0.5339	91.3			1.73	0.92
12年目	H 39	0.5134	91.3			1.73	0.89
13年目	H 40	0.4936	91.3			1.73	0.85
14年目	H 41	0.4746	91.3			1.73	0.82
15年目	H 42	0.4564	91.3			1.73	0.79
16年目	H 43	0.4388	91.3			1.73	0.76
17年目	H 44	0.4220	91.3			1.73	0.73
18年目	H 45	0.4057	91.3			1.73	0.70
19年目	H 46	0.3901	91.3			1.73	0.67
20年目	H 47	0.3751	91.3			1.73	0.65
21年目	H 48	0.3607	91.3			1.73	0.62
22年目	H 49	0.3468	91.3			1.73	0.60
23年目	H 50	0.3335	91.3			1.73	0.58
24年目	H 51	0.3207	91.3			1.73	0.55
25年目	H 52	0.3083	91.3			1.73	0.53
26年目	H 53	0.2965	91.3			1.73	0.51
27年目	H 54	0.2851	91.3			1.73	0.49
28年目	H 55	0.2741	91.3			1.73	0.47
29年目	H 56	0.2636	91.3			1.73	0.45
30年目	H 57	0.2534	91.3			1.73	0.44
31年目	H 58	0.2437	91.3			1.73	0.42
32年目	H 59	0.2343	91.3			1.73	0.40
33年目	H 60	0.2253	91.3			1.73	0.39
34年目	H 61	0.2166	91.3			1.73	0.37
35年目	H 62	0.2083	91.3			1.73	0.36
36年目	H 63	0.2003	91.3			1.73	0.35
37年目	H 64	0.1926	91.3			1.73	0.33
38年目	H 65	0.1852	91.3			1.73	0.32
39年目	H 66	0.1780	91.3			1.73	0.31
40年目	H 67	0.1712	91.3			1.73	0.30
41年目	H 68	0.1646	91.3			1.73	0.28
42年目	H 69	0.1583	91.3			1.73	0.27
43年目	H 70	0.1522	91.3			1.73	0.26
44年目	H 71	0.1463	91.3			1.73	0.25
45年目	H 72	0.1407	91.3			1.73	0.24
46年目	H 73	0.1353	91.3			1.73	0.23
47年目	H 74	0.1301	91.3			1.73	0.22
48年目	H 75	0.1251	91.3			1.73	0.22
49年目	H 76	0.1203	91.3	-21.62	-2.60	1.73	0.21
合計				524.25	556.05	86.31	31.70

単純事業費計		545.87	86.31
--------	--	--------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名: 浜田・三隅道路(残事業)

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)雪寒費除く		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.13	14.5	1.81

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-4年目	H 23	0.9615	91.3	56.11	53.95		
-3年目	H 24	0.9246	91.3	57.12	52.81		
-2年目	H 25	0.8890	91.3	47.11	41.88		
-1年目	H 26	0.8548	91.3	43.12	36.86		
供用開始年次	H 27	0.8219	91.3			1.73	1.42
1年目	H 28	0.7903	91.3			1.73	1.36
2年目	H 29	0.7599	91.3			1.73	1.31
3年目	H 30	0.7307	91.3			1.73	1.26
4年目	H 31	0.7026	91.3			1.73	1.21
5年目	H 32	0.6756	91.3			1.73	1.17
6年目	H 33	0.6496	91.3			1.73	1.12
7年目	H 34	0.6246	91.3			1.73	1.08
8年目	H 35	0.6006	91.3			1.73	1.04
9年目	H 36	0.5775	91.3			1.73	1.00
10年目	H 37	0.5553	91.3			1.73	0.96
11年目	H 38	0.5339	91.3			1.73	0.92
12年目	H 39	0.5134	91.3			1.73	0.89
13年目	H 40	0.4936	91.3			1.73	0.85
14年目	H 41	0.4746	91.3			1.73	0.82
15年目	H 42	0.4564	91.3			1.73	0.79
16年目	H 43	0.4388	91.3			1.73	0.76
17年目	H 44	0.4220	91.3			1.73	0.73
18年目	H 45	0.4057	91.3			1.73	0.70
19年目	H 46	0.3901	91.3			1.73	0.67
20年目	H 47	0.3751	91.3			1.73	0.65
21年目	H 48	0.3607	91.3			1.73	0.62
22年目	H 49	0.3468	91.3			1.73	0.60
23年目	H 50	0.3335	91.3			1.73	0.58
24年目	H 51	0.3207	91.3			1.73	0.55
25年目	H 52	0.3083	91.3			1.73	0.53
26年目	H 53	0.2965	91.3			1.73	0.51
27年目	H 54	0.2851	91.3			1.73	0.49
28年目	H 55	0.2741	91.3			1.73	0.47
29年目	H 56	0.2636	91.3			1.73	0.45
30年目	H 57	0.2534	91.3			1.73	0.44
31年目	H 58	0.2437	91.3			1.73	0.42
32年目	H 59	0.2343	91.3			1.73	0.40
33年目	H 60	0.2253	91.3			1.73	0.39
34年目	H 61	0.2166	91.3			1.73	0.37
35年目	H 62	0.2083	91.3			1.73	0.36
36年目	H 63	0.2003	91.3			1.73	0.35
37年目	H 64	0.1926	91.3			1.73	0.33
38年目	H 65	0.1852	91.3			1.73	0.32
39年目	H 66	0.1780	91.3			1.73	0.31
40年目	H 67	0.1712	91.3			1.73	0.30
41年目	H 68	0.1646	91.3			1.73	0.28
42年目	H 69	0.1583	91.3			1.73	0.27
43年目	H 70	0.1522	91.3			1.73	0.26
44年目	H 71	0.1463	91.3			1.73	0.25
45年目	H 72	0.1407	91.3			1.73	0.24
46年目	H 73	0.1353	91.3			1.73	0.23
47年目	H 74	0.1301	91.3			1.73	0.22
48年目	H 75	0.1251	91.3			1.73	0.22
49年目	H 76	0.1203	91.3	-0.21	-0.03	1.73	0.21
合計				203.25	185.48	86.31	31.70

単純事業費計		203.46	86.31
--------	--	--------	-------

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：浜田・三隅道路(事業全体)

年次	年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (山陰ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレーター (B)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 27	0.99662	0.99320	0.99555	0.8219	91.3	13.01	4.45	17.94	35.39	29.09	3.50	0.87	4.39	8.76	7.20	4.24	3.48	48.39	39.77
1年目	H 28	0.99661	0.99316	0.99553	0.7903	91.3	12.96	4.42	17.82	35.20	27.82	3.49	0.86	4.36	8.71	6.88	4.22	3.34	48.13	38.04
2年目	H 29	0.99660	0.99311	0.99551	0.7599	91.3	12.92	4.39	17.69	35.00	26.60	3.48	0.86	4.33	8.66	6.58	4.20	3.19	47.86	36.37
3年目	H 30	0.99659	0.99306	0.99549	0.7307	91.3	12.87	4.36	17.57	34.80	25.43	3.46	0.85	4.30	8.61	6.29	4.18	3.06	47.60	34.78
4年目	H 31	0.99657	0.99301	0.99547	0.7026	91.3	12.83	4.33	17.45	34.61	24.31	3.45	0.85	4.27	8.57	6.02	4.16	2.93	47.34	33.26
5年目	H 32	0.99656	0.99296	0.99545	0.6756	91.3	12.78	4.30	17.33	34.41	23.24	3.44	0.84	4.24	8.52	5.76	4.14	2.80	47.07	31.80
6年目	H 33	0.99617	0.99572	0.99603	0.6496	91.3	12.74	4.28	17.25	34.27	22.26	3.43	0.84	4.22	8.48	5.51	4.13	2.68	46.88	30.45
7年目	H 34	0.99615	0.99570	0.99602	0.6246	91.3	12.69	4.26	17.18	34.12	21.31	3.41	0.83	4.20	8.45	5.28	4.11	2.57	46.69	29.16
8年目	H 35	0.99614	0.99569	0.99600	0.6006	91.3	12.64	4.24	17.10	33.98	20.41	3.40	0.83	4.18	8.41	5.05	4.10	2.46	46.49	27.92
9年目	H 36	0.99613	0.99567	0.99598	0.5775	91.3	12.59	4.22	17.03	33.84	19.54	3.39	0.83	4.17	8.38	4.84	4.08	2.36	46.30	26.74
10年目	H 37	0.99611	0.99565	0.99597	0.5553	91.3	12.54	4.20	16.96	33.70	18.71	3.37	0.82	4.15	8.34	4.63	4.06	2.26	46.11	25.60
11年目	H 38	0.99609	0.99563	0.99595	0.5339	91.3	12.49	4.19	16.88	33.56	17.92	3.36	0.82	4.13	8.31	4.44	4.05	2.16	45.91	24.51
12年目	H 39	0.99608	0.99561	0.99593	0.5134	91.3	12.44	4.17	16.81	33.42	17.16	3.35	0.82	4.11	8.27	4.25	4.03	2.07	45.72	23.47
13年目	H 40	0.99606	0.99559	0.99592	0.4936	91.3	12.39	4.15	16.73	33.28	16.43	3.33	0.81	4.09	8.24	4.07	4.01	1.98	45.53	22.47
14年目	H 41	0.99605	0.99557	0.99590	0.4746	91.3	12.34	4.13	16.66	33.13	15.73	3.32	0.81	4.08	8.20	3.89	4.00	1.90	45.34	21.52
15年目	H 42	0.99603	0.99555	0.99588	0.4564	91.3	12.30	4.11	16.59	32.99	15.06	3.31	0.80	4.06	8.17	3.73	3.98	1.82	45.14	20.60
16年目	H 43	0.98990	0.99727	0.99217	0.4388	91.3	12.17	4.10	16.54	32.81	14.40	3.27	0.80	4.05	8.12	3.56	3.95	1.73	44.88	19.70
17年目	H 44	0.98980	0.99727	0.99211	0.4220	91.3	12.05	4.09	16.49	32.63	13.77	3.24	0.80	4.03	8.08	3.41	3.92	1.65	44.63	18.83
18年目	H 45	0.98969	0.99726	0.99205	0.4057	91.3	11.92	4.08	16.45	32.45	13.17	3.21	0.80	4.02	8.03	3.26	3.89	1.58	44.37	18.00
19年目	H 46	0.98958	0.99725	0.99198	0.3901	91.3	11.80	4.07	16.40	32.27	12.59	3.17	0.80	4.01	7.98	3.11	3.86	1.50	44.11	17.21
20年目	H 47	0.98948	0.99724	0.99192	0.3751	91.3	11.67	4.06	16.36	32.09	12.04	3.14	0.79	4.00	7.94	2.98	3.82	1.43	43.85	16.45
21年目	H 48	0.98936	0.99724	0.99185	0.3607	91.3	11.55	4.05	16.31	31.91	11.51	3.11	0.79	3.99	7.89	2.85	3.79	1.37	43.59	15.72
22年目	H 49	0.98925	0.99723	0.99178	0.3468	91.3	11.43	4.03	16.27	31.73	11.00	3.07	0.79	3.98	7.84	2.72	3.76	1.30	43.33	15.03
23年目	H 50	0.98913	0.99722	0.99172	0.3335	91.3	11.30	4.02	16.22	31.55	10.52	3.04	0.79	3.97	7.80	2.60	3.73	1.24	43.08	14.36
24年目	H 51	0.98901	0.99721	0.99165	0.3207	91.3	11.18	4.01	16.18	31.37	10.06	3.01	0.79	3.96	7.75	2.49	3.70	1.19	42.82	13.73
25年目	H 52	0.98889	0.99721	0.99158	0.3083	91.3	11.05	4.00	16.13	31.19	9.62	2.97	0.78	3.95	7.70	2.38	3.67	1.13	42.56	13.12
26年目	H 53	0.98877	0.99720	0.99150	0.2965	91.3	10.93	3.99	16.09	31.01	9.19	2.94	0.78	3.94	7.66	2.27	3.64	1.08	42.30	12.54
27年目	H 54	0.98864	0.99719	0.99143	0.2851	91.3	10.80	3.98	16.04	30.83	8.79	2.91	0.78	3.92	7.61	2.17	3.61	1.03	42.04	11.98
28年目	H 55	0.98851	0.99718	0.99136	0.2741	91.3	10.68	3.97	16.00	30.65	8.40	2.87	0.78	3.91	7.56	2.07	3.57	0.98	41.78	11.45
29年目	H 56	0.98837	0.99717	0.99128	0.2636	91.3	10.56	3.96	15.95	30.46	8.03	2.84	0.77	3.90	7.52	1.98	3.54	0.93	41.52	10.94
30年目	H 57	0.98824	0.99717	0.99121	0.2534	91.3	10.43	3.94	15.91	30.28	7.67	2.81	0.77	3.89	7.47	1.89	3.51	0.89	41.27	10.46
31年目	H 58	0.98810	0.99716	0.99113	0.2437	91.3	10.31	3.93	15.86	30.10	7.34	2.77	0.77	3.88	7.42	1.81	3.48	0.85	41.01	9.99
32年目	H 59	0.98795	0.99715	0.99105	0.2343	91.3	10.18	3.92	15.82	29.92	7.01	2.74	0.77	3.87	7.38	1.73	3.45	0.81	40.75	9.55
33年目	H 60	0.98781	0.99714	0.99097	0.2253	91.3	10.06	3.91	15.77	29.74	6.70	2.71	0.77	3.86	7.33	1.65	3.42	0.77	40.49	9.12
34年目	H 61	0.98766	0.99713	0.99088	0.2166	91.3	9.94	3.90	15.73	29.56	6.40	2.67	0.76	3.85	7.28	1.58	3.39	0.73	40.23	8.72
35年目	H 62	0.98750	0.99713	0.99080	0.2083	91.3	9.81	3.89	15.68	29.38	6.12	2.64	0.76	3.84	7.24	1.51	3.36	0.70	39.97	8.33
36年目	H 63	0.98735	0.99712	0.99072	0.2003	91.3	9.69	3.88	15.64	29.20	5.85	2.61	0.76	3.82	7.19	1.44	3.33	0.67	39.72	7.95
37年目	H 64	0.98718	0.99711	0.99063	0.1926	91.3	9.56	3.87	15.59	29.02	5.59	2.57	0.76	3.81	7.14	1.38	3.29	0.63	39.46	7.60
38年目	H 65	0.98702	0.99710	0.99054	0.1852	91.3	9.44	3.86	15.55	28.84	5.34	2.54	0.75	3.80	7.10	1.31	3.26	0.60	39.20	7.26
39年目	H 66	0.98685	0.99709	0.99045	0.1780	91.3	9.31	3.84	15.50	28.66	5.10	2.51	0.75	3.79	7.05	1.26	3.23	0.58	38.94	6.93
40年目	H 67	0.98667	0.99708	0.99036	0.1712	91.3	9.19	3.83	15.45	28.48	4.88	2.47	0.75	3.78	7.00	1.20	3.20	0.55	38.68	6.62
41年目	H 68	0.98649	0.99708	0.99026	0.1646	91.3	9.07	3.82	15.41	28.30	4.66	2.44	0.75	3.77	6.96	1.15	3.17	0.52	38.42	6.33
42年目	H 69	0.98631	0.99707	0.99017	0.1583	91.3	8.94	3.81	15.36	28.12	4.45	2.41	0.75	3.76	6.91	1.09	3.14	0.50	38.17	6.04
43年目	H 70	0.98612	0.99706	0.99007	0.1522	91.3	8.82	3.80	15.32	27.94	4.25	2.37	0.74	3.75	6.86	1.04	3.11	0.47	37.91	5.77
44年目	H 71	0.98592	0.99705	0.98997	0.1463	91.3	8.69	3.79	15.27	27.76	4.06	2.34	0.74	3.74	6.82	1.00	3.08	0.45	37.65	5.51
45年目	H 72	0.98572	0.99704	0.98987	0.1407	91.3	8.57	3.78	15.23	27.58	3.88	2.31	0.74	3.73	6.77	0.95	3.05	0.43	37.39	5.26
46年目	H 73	0.98551	0.99703	0.98977	0.1353	91.3	8.45	3.77	15.18	27.39	3.71	2.27	0.74	3.71	6.72	0.91	3.01	0.41	37.13	5.02
47年目	H 74	0.98530	0.99702	0.98966	0.1301	91.3	8.32	3.75	15.14	27.21	3.54	2.24	0.73	3.70	6.68	0.87	2.98	0.39	36.87	4.80
48年目	H 75	0.98508	0.99701	0.98955	0.1251	91.3	8.20	3.74	15.09	27.03	3.38	2.21	0.73	3.69	6.63	0.83	2.95	0.37	36.62	4.58
49年目	H 76	0.98485	0.99700	0.98944	0.1203	91.3	8.07	3.73	15.05	26.85	3.23	2.17	0.73	3.68	6.58	0.79	2.92	0.35	36.36	4.37
合計							546.67	201.37	811.97	1,560.01	597.25	147.08	39.41	198.62	385.12	147.65	182.47	70.86	2,127.60	815.76

便益の現在価値算定表

箇所名：浜田・三隅道路(残事業)

年度 (基準年) H22	総走行台キロの年次別伸び率 (山陰ブロック)			割引率 (A)	GDP デフレーター (B)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)		
	乗用車類	貨物車類	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%	
供用開始年次	H 27	0.99662	0.99320	0.99555	0.8219	91.3	13.01	4.45	17.94	35.39	29.09	3.50	0.87	4.39	8.76	7.20	4.24	3.48	48.39	39.77
1年目	H 28	0.99661	0.99316	0.99553	0.7903	91.3	12.96	4.42	17.82	35.20	27.82	3.49	0.86	4.36	8.71	6.88	4.22	3.34	48.13	38.04
2年目	H 29	0.99660	0.99311	0.99551	0.7599	91.3	12.92	4.39	17.69	35.00	26.60	3.48	0.86	4.33	8.66	6.58	4.20	3.19	47.86	36.37
3年目	H 30	0.99659	0.99306	0.99549	0.7307	91.3	12.87	4.36	17.57	34.80	25.43	3.46	0.85	4.30	8.61	6.29	4.18	3.06	47.60	34.78
4年目	H 31	0.99657	0.99301	0.99547	0.7026	91.3	12.83	4.33	17.45	34.61	24.31	3.45	0.85	4.27	8.57	6.02	4.16	2.93	47.34	33.26
5年目	H 32	0.99656	0.99296	0.99545	0.6756	91.3	12.78	4.30	17.33	34.41	23.24	3.44	0.84	4.24	8.52	5.76	4.14	2.80	47.07	31.80
6年目	H 33	0.99617	0.99572	0.99603	0.6496	91.3	12.74	4.28	17.25	34.27	22.26	3.43	0.84	4.22	8.48	5.51	4.13	2.68	46.88	30.45
7年目	H 34	0.99615	0.99570	0.99602	0.6246	91.3	12.69	4.26	17.18	34.12	21.31	3.41	0.83	4.20	8.45	5.28	4.11	2.57	46.69	29.16
8年目	H 35	0.99614	0.99569	0.99600	0.6006	91.3	12.64	4.24	17.10	33.98	20.41	3.40	0.83	4.18	8.41	5.05	4.10	2.46	46.49	27.92
9年目	H 36	0.99613	0.99567	0.99598	0.5775	91.3	12.59	4.22	17.03	33.84	19.54	3.39	0.83	4.17	8.38	4.84	4.08	2.36	46.30	26.74
10年目	H 37	0.99611	0.99565	0.99597	0.5553	91.3	12.54	4.20	16.96	33.70	18.71	3.37	0.82	4.15	8.34	4.63	4.06	2.26	46.11	25.60
11年目	H 38	0.99609	0.99563	0.99595	0.5339	91.3	12.49	4.19	16.88	33.56	17.92	3.36	0.82	4.13	8.31	4.44	4.05	2.16	45.91	24.51
12年目	H 39	0.99608	0.99561	0.99593	0.5134	91.3	12.44	4.17	16.81	33.42	17.16	3.35	0.82	4.11	8.27	4.25	4.03	2.07	45.72	23.47
13年目	H 40	0.99606	0.99559	0.99592	0.4936	91.3	12.39	4.15	16.73	33.28	16.43	3.33	0.81	4.09	8.24	4.07	4.01	1.98	45.53	22.47
14年目	H 41	0.99605	0.99557	0.99590	0.4746	91.3	12.34	4.13	16.66	33.13	15.73	3.32	0.81	4.08	8.20	3.89	4.00	1.90	45.34	21.52
15年目	H 42	0.99603	0.99555	0.99588	0.4564	91.3	12.30	4.11	16.59	32.99	15.06	3.31	0.80	4.06	8.17	3.73	3.98	1.82	45.14	20.60
16年目	H 43	0.98990	0.99727	0.99217	0.4388	91.3	12.17	4.10	16.54	32.81	14.40	3.27	0.80	4.05	8.12	3.56	3.95	1.73	44.88	19.70
17年目	H 44	0.98980	0.99727	0.99211	0.4220	91.3	12.05	4.09	16.49	32.63	13.77	3.24	0.80	4.03	8.08	3.41	3.92	1.65	44.63	18.83
18年目	H 45	0.98969	0.99726	0.99205	0.4057	91.3	11.92	4.08	16.45	32.45	13.17	3.21	0.80	4.02	8.03	3.26	3.89	1.58	44.37	18.00
19年目	H 46	0.98958	0.99725	0.99198	0.3901	91.3	11.80	4.07	16.40	32.27	12.59	3.17	0.80	4.01	7.98	3.11	3.86	1.50	44.11	17.21
20年目	H 47	0.98948	0.99724	0.99192	0.3751	91.3	11.67	4.06	16.36	32.09	12.04	3.14	0.79	4.00	7.94	2.98	3.82	1.43	43.85	16.45
21年目	H 48	0.98936	0.99724	0.99185	0.3607	91.3	11.55	4.05	16.31	31.91	11.51	3.11	0.79	3.99	7.89	2.85	3.79	1.37	43.59	15.72
22年目	H 49	0.98925	0.99723	0.99178	0.3468	91.3	11.43	4.03	16.27	31.73	11.00	3.07	0.79	3.98	7.84	2.72	3.76	1.30	43.33	15.03
23年目	H 50	0.98913	0.99722	0.99172	0.3335	91.3	11.30	4.02	16.22	31.55	10.52	3.04	0.79	3.97	7.80	2.60	3.73	1.24	43.08	14.36
24年目	H 51	0.98901	0.99721	0.99165	0.3207	91.3	11.18	4.01	16.18	31.37	10.06	3.01	0.79	3.96	7.75	2.49	3.70	1.19	42.82	13.73
25年目	H 52	0.98889	0.99721	0.99158	0.3083	91.3	11.05	4.00	16.13	31.19	9.62	2.97	0.78	3.95	7.70	2.38	3.67	1.13	42.56	13.12
26年目	H 53	0.98877	0.99720	0.99150	0.2965	91.3	10.93	3.99	16.09	31.01	9.19	2.94	0.78	3.94	7.66	2.27	3.64	1.08	42.30	12.54
27年目	H 54	0.98864	0.99719	0.99143	0.2851	91.3	10.80	3.98	16.04	30.83	8.79	2.91	0.78	3.92	7.61	2.17	3.61	1.03	42.04	11.98
28年目	H 55	0.98851	0.99718	0.99136	0.2741	91.3	10.68	3.97	16.00	30.65	8.40	2.87	0.78	3.91	7.56	2.07	3.57	0.98	41.78	11.45
29年目	H 56	0.98837	0.99717	0.99128	0.2636	91.3	10.56	3.96	15.95	30.46	8.03	2.84	0.77	3.90	7.52	1.98	3.54	0.93	41.52	10.94
30年目	H 57	0.98824	0.99717	0.99121	0.2534	91.3	10.43	3.94	15.91	30.28	7.67	2.81	0.77	3.89	7.47	1.89	3.51	0.89	41.27	10.46
31年目	H 58	0.98810	0.99716	0.99113	0.2437	91.3	10.31	3.93	15.86	30.10	7.34	2.77	0.77	3.88	7.42	1.81	3.48	0.85	41.01	9.99
32年目	H 59	0.98795	0.99715	0.99105	0.2343	91.3	10.18	3.92	15.82	29.92	7.01	2.74	0.77	3.87	7.38	1.73	3.45	0.81	40.75	9.55
33年目	H 60	0.98781	0.99714	0.99097	0.2253	91.3	10.06	3.91	15.77	29.74	6.70	2.71	0.77	3.86	7.33	1.65	3.42	0.77	40.49	9.12
34年目	H 61	0.98766	0.99713	0.99088	0.2166	91.3	9.94	3.90	15.73	29.56	6.40	2.67	0.76	3.85	7.28	1.58	3.39	0.73	40.23	8.72
35年目	H 62	0.98750	0.99713	0.99080	0.2083	91.3	9.81	3.89	15.68	29.38	6.12	2.64	0.76	3.84	7.24	1.51	3.36	0.70	39.97	8.33
36年目	H 63	0.98735	0.99712	0.99072	0.2003	91.3	9.69	3.88	15.64	29.20	5.85	2.61	0.76	3.82	7.19	1.44	3.33	0.67	39.72	7.95
37年目	H 64	0.98718	0.99711	0.99063	0.1926	91.3	9.56	3.87	15.59	29.02	5.59	2.57	0.76	3.81	7.14	1.38	3.29	0.63	39.46	7.60
38年目	H 65	0.98702	0.99710	0.99054	0.1852	91.3	9.44	3.86	15.55	28.84	5.34	2.54	0.75	3.80	7.10	1.31	3.26	0.60	39.20	7.26
39年目	H 66	0.98685	0.99709	0.99045	0.1780	91.3	9.31	3.84	15.50	28.66	5.10	2.51	0.75	3.79	7.05	1.26	3.23	0.58	38.94	6.93
40年目	H 67	0.98667	0.99708	0.99036	0.1712	91.3	9.19	3.83	15.45	28.48	4.88	2.47	0.75	3.78	7.00	1.20	3.20	0.55	38.68	6.62
41年目	H 68	0.98649	0.99708	0.99026	0.1646	91.3	9.07	3.82	15.41	28.30	4.66	2.44	0.75	3.77	6.96	1.15	3.17	0.52	38.42	6.33
42年目	H 69	0.98631	0.99707	0.99017	0.1583	91.3	8.94	3.81	15.36	28.12	4.45	2.41	0.75	3.76	6.91	1.09	3.14	0.50	38.17	6.04
43年目	H 70	0.98612	0.99706	0.99007	0.1522	91.3	8.82	3.80	15.32	27.94	4.25	2.37	0.74	3.75	6.86	1.04	3.11	0.47	37.91	5.77
44年目	H 71	0.98592	0.99705	0.98997	0.1463	91.3	8.69	3.79	15.27	27.76	4.06	2.34	0.74	3.74	6.82	1.00	3.08	0.45	37.65	5.51
45年目	H 72	0.98572	0.99704	0.98987	0.1407	91.3	8.57	3.78	15.23	27.58	3.88	2.31	0.74	3.73	6.77	0.95	3.05	0.43	37.39	5.26
46年目	H 73	0.98551	0.99703	0.98977	0.1353	91.3	8.45	3.77	15.18	27.39	3.71	2.27	0.74	3.71	6.72	0.91	3.01	0.41	37.13	5.02
47年目	H 74	0.98530	0.99702	0.98966	0.1301	91.3	8.32	3.75	15.14	27.21	3.54	2.24	0.73	3.70	6.68	0.87	2.98	0.39	36.87	4.80
48年目	H 75	0.98508	0.99701	0.98955	0.1251	91.3	8.20	3.74	15.09	27.03	3.38	2.21	0.73	3.69	6.63	0.83	2.95	0.37	36.62	4.58
49年目	H 76	0.98485	0.99700	0.98944	0.1203	91.3	8.07	3.73	15.05	26.85	3.23	2.17	0.73	3.68	6.58	0.79	2.92	0.35	36.36	4.37
合計							546.67	201.37	811.97	1,560.01	597.25	147.08	39.41	198.62	385.12	147.65	182.47	70.86	2,127.60	815.76

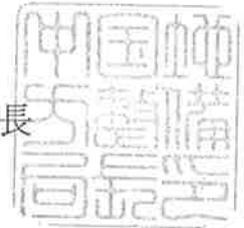
一般国道9号 浜田・三隅道路

〔島根県への意見照会と回答〕

国中整企画第38号
国中整港計第24号
平成22年10月26日

島根県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成22年11月18日（木）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成22年11月9日（火）までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
江の川下流土地利用一体型 水防災事業(川平地区)	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針(原案)を作成するためのものです。

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道9号 浜田・三隅道路	継続	

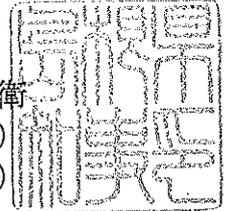
※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針(原案)を作成するためのものです。

高推第 25号

平成22年11月9日

中国地方整備局長 様

島根県知事 溝口 善兵衛
(土木部高速道路推進課)
(土木部河川課)



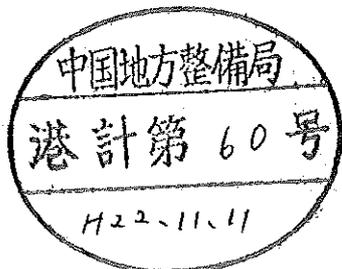
中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る
意見照会について(回答)

平成22年10月26日付け国中整企画第38号、国中整港計第24号で意見照会
のあった下記事業について、継続するとの対応方針(原案)については異存ありませ
ん。

なお、個別の事業についての意見は別紙のとおりです。

記

- ・江の川下流土地利用一体型水防災事業(川平地区)
- ・一般国道9号浜田・三隅道路



(担当)

高速道路推進課 景山

電話 0852-22-6134

河川課 若槻

電話 0852-22-6747

(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)案に対する意見

【河川事業】

事業名	江の川下流土地利用一体型水防災事業（川平地区）
対応方針に対する意見 （対応方針：継続）	妥当である
（意見） 江の川下流土地利用一体型水防災事業（川平地区）については、山間部の狭い土地の有効利用を図りながら、治水安全度の確保に有効な事業であり、早期完成を図って頂きたい。 また、江の川下流域の河川改修は、無堤防区間が数多く残されており、堤防整備率は、上流側（広島県側）に比べて非常に低いことから、無堤防箇所の解消を図り、常に水害の危険にさらされている地域住民の安全安心を一日でも早く確保して頂きたい。	

【道路事業】

事業名	一般国道9号浜田・三隅道路
対応方針に対する意見 （対応方針：継続）	妥当である
（意見） 浜田三隅道路は、重点港湾浜田港を活かした物流の活性化、企業誘致の促進、事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援を始め、地域産業の活性化、地域間交流の促進のため必要不可欠な路線であり、早期完成を図って頂きたい。 また、隣接する三隅益田道路についても平成22年10月に都市計画決定され、事業実施環境が整っていることから、早期に新規事業着手を図って頂きたい。 その他の山陰道の各区間についても、未着手区間の早期事業着手、事業中区間の事業促進を図り、2020年を目途に山陰道全線の開通を図って頂きたい。	